



2026春闘を職場・地域から連帯して闘おう！ ③

## 賃金の本質を学ぶ！ JRひがし労と合同春闘学習会開催

JR東海労は2月17日、東京都内でJRひがし労と「合同春闘学習会」を開催しました。

最初に、両単組委員長が挨拶を行いました。淵上委員長は「今学習会で賃金とは何かを学ぼう。御用組合は会社のおこぼれを貰うのが賃上げだと認識している。他労組組合員に、賃金の本質を訴えよう」、JRひがし労松下委員長は「今春闘を組織拡大春闘として位置づけ闘う。社友会の人たちは、春闘すら知らない。働いていない地域組合員については、メッセージ行動などで春闘の一体感をつくっている」と挨拶しました。

今学習会は、敬松塾運営委員の平山さんが講師を務めました。平山さんは、JR各社の賃金制度は定期昇給を否定する仕組みになっていることで労働者の賃金を抑制していること、それと並行して雇用形態の転換を行い終身雇用を否定している実態、経済状況と賃金との関連性、資本主義経済の本質・剰余価値を生む仕組みなど、多岐にわたり賃金の本質を説明しました。

講演後、参加者から意見や質問など、討論を行い、最後に本橋書記長は「ベア2万円を統一要求として春闘を闘い、組織拡大を目指そう」と、まとめを行いました。

